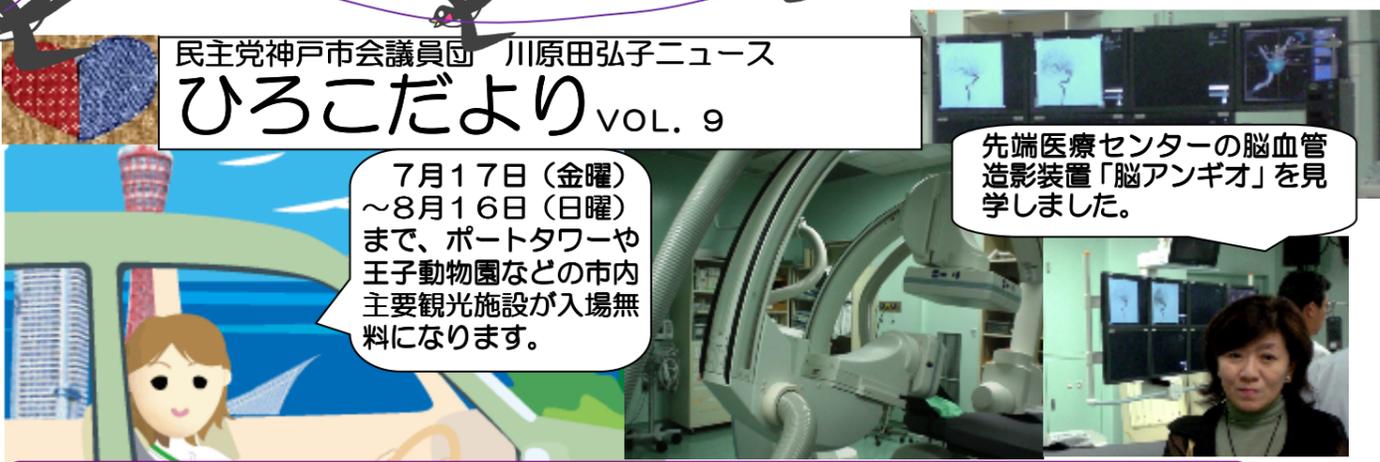


7月17日（金曜）
～8月16日（日曜）
まで、ポートタワーや
王子動物園などの市内
主要観光施設が入場無
料になります。



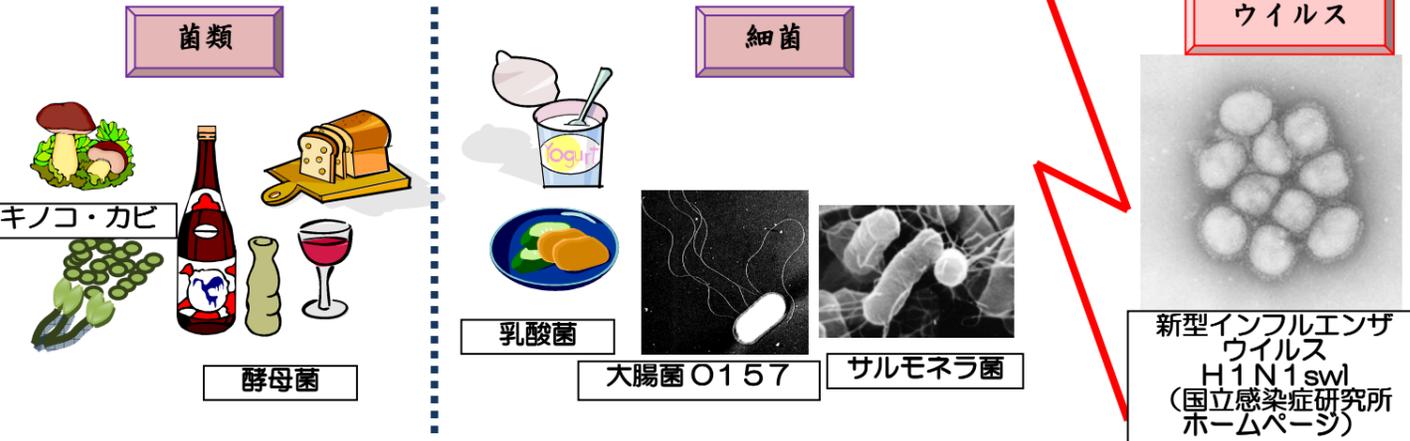
先端医療センターの脳血管
造影装置「脳アンギオ」を見
学しました。

～新型インフルエンザに備えよう(その2)～

今年の初め、ひろこだよりVOL. 7で、世界中で猛威を奮っている鳥インフルエンザH5N1に備えましょう！という特集を組みました。皆さん、覚えていらっしゃるでしょうか？半年も経たないうちに、“伏兵”とも言える、豚インフルエンザH1N1が神戸に来襲しました。幸い、毒性は弱いようで、日本での死亡者はなし、感染された方々も、軽い症状で回復されています。これから湿度も高く、ウイルスには適した環境ではありませんが、日本の裏の南半球でウイルスたちは感染を広げています。懸念されるのは、夏が過ぎ、秋から冬にかけ、普通の季節性インフルエンザと一緒にやってきたとき！！それから、起こってほしくはないですが、今、人から人には感染しにくい鳥インフルエンザが、感染しやすいタイプに変異したときです！！私たちにできる備えは、マスクや消毒液だけではなく、「現在わかっていることを、できるだけたくさんの方が知識として持っておくこと」が必要だと思います。敵であるウイルスのこと、一緒に、勉強しましょう！！

ウイルスと菌類・細菌の違いについて

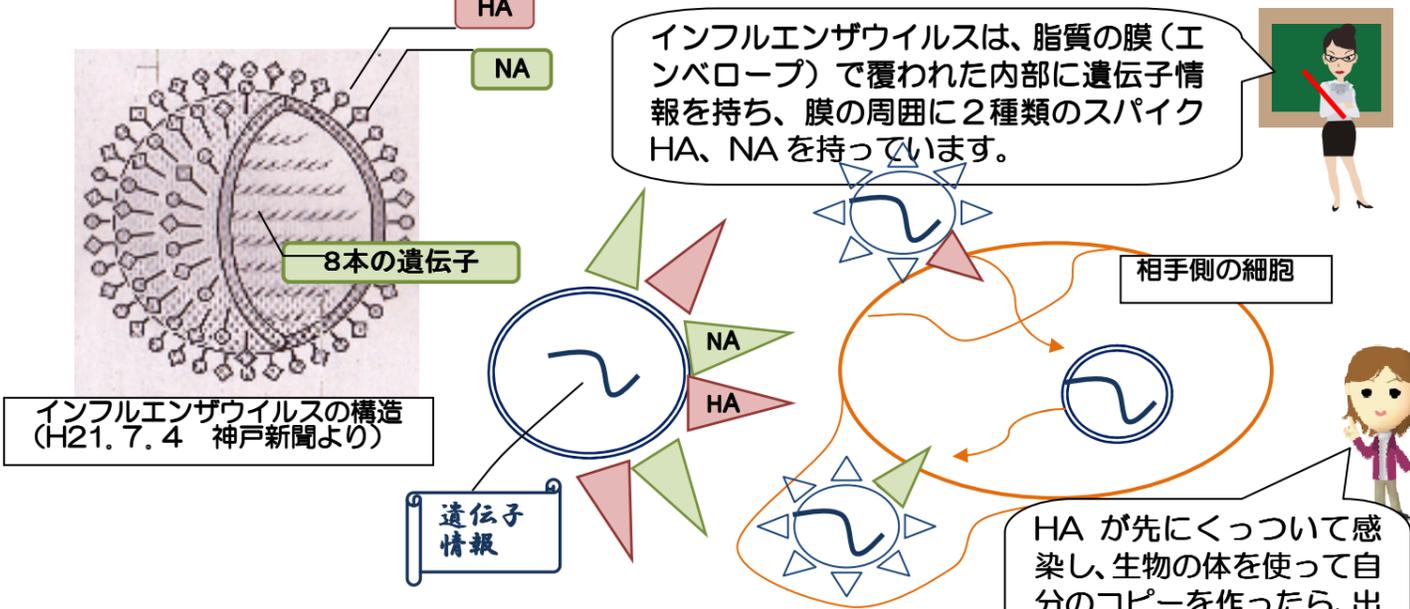
菌類は、キノコやカビ、お酒やパンを作るのに大切な酵母菌などを指し、細菌（バクテリア）には、ヨーグルトやお漬物を作る乳酸菌などの優等生のほか、大腸菌やサルモネラ菌といった、人に嫌われ者の菌もあります。ウイルスは、菌類でも、細菌でもなく、本によっては、「生物でも無生物でもない存在」という表現もされています。菌類や細菌は、自分の細胞でたんぱく質やエネルギーを作り出し、増えることができますが、ウイルスはできません。



ウイルスは、「自分でたんぱく質を作ることができない」「自分でエネルギーを作ることができない」ために、他の生物の細胞に寄生して、自分のコピーを作らせて増殖します。



インフルエンザ・ウイルスの感染のしくみ



予防ワクチンと抗ウイルス薬について

